

第18回カレッジ川柳会月報

第十八回カレッジ川柳会月報（二月例会結果報告）

日時 … 平成三十年一月二十四日（水）午後一時半～四時

場所 … 美浜公民館・第二会議室

講師 … 佐藤公江（千葉県川柳作家連盟理事）

出席者 …（順不同・敬称略）

井上慧姑、谷口勝、松谷のん紀、両角節児、

茂木ほまれ、山口のぼん、山岸順、黒崎与三坊

課題「奥の手」互選句 佐藤公江 講評

「1点」

褒め言葉その一言につき本気

節児

毛布着てアイス食べ食べ雪見かな

ほまれ

手抜きでもおせちの美味し腕前よ

澄ゑ

（講師添削句「手抜きでもおせちが美味い腕前よ」）

少子化の対策移民受け入れか

勝

生きかたに遊びごろの隠し味

澄ゑ

通じない泣きの一番ドライアイ

慧姑

（講師添削句「ドライアイ泣きの一手が通じない」）

初雪やあの手この手で驚かす

ほまれ

奥の手はミニトマトだけ植え続け

のぼん

「2点」

最後の手孫だしにしてじいおれる

のん紀

家計簿の赤字黒字で書き換える
満点を取って裏ワザ疑われ

順
与三坊

「3点」

行き詰まり五輪参加で打開策

勝

叱るより褒めて使えば結果でる

節児

「4点」

奥の手を使えるだけの智恵もなし

ほまれ

病院へ不良議員は雲隠れ

勝

母すごい一夜明ければおせちあり

のん紀

（講師添削句「一夜明けおせちが並ぶ母の腕」）

「5点」

禁じ手を出し横綱の座を守り

与三坊

口喧嘩最後出るのはもう離婚

慧姑

（講師添削句「別れます喧嘩のたびに抜く宝刀」）

奥の手は腹を括った時に出す

のぼん

「講師の句」

黙ってはいるが秘策が肝に住む

公江

終章に出す印籠が見つからぬ

公江

負けそうになるとダイヤをひけらかし

公江

第18回カレッジ川柳会月報

自由吟 佐藤 公江 選

「惜しい句」

去年かな手帳を見たら四年前
ダイエツトテレビのようなドラマなし
デイズニーの魔法借りたい年の瀬に
ロボットと長寿を願う寒い朝
年が明け今年も元気つつがなく

慧 姑
順 紀
順 児

「秀」

家もある金もたまった嫁欲しい
（講師添削句「家もある金もたまった嫁が無い」）
かち上げと張り手封じてまた負けた
歌会の長鳴き鳥が和歌を詠み
ミサ曲をハモれて嬉し仏教徒
友逝きて寂しさ募る喜寿近し
妻の技食べたい牡蠣と純米酒
（講師添削句「妻の夢食べたい牡蠣と純米酒」）
人手不足千手観音すがり付き
（講師添削句「千手観音人手不足がすがりつく」）
新春や百歳の字が踊ってる

のん紀
勝
与三坊
澄 魚
澄 魚
のぼん
与三坊
ほまれ

「客」

はるかなり粹な年増は死語となり
雪かきで腰に痛みが走る老い
自分との折り合いつける死は間近
介護する自愛自愛は疲れ出る
怨霊が宿る社は今年パス

ほまれ
与三坊
のぼん
のぼん
節 児

「人」

男性は床の間の華枯れている

慧 姑

「地」

青雲にむかし風揚げ今ドロン

勝

「天」

ミサイルで腹は膨れず身は細る

澄 魚

~~~~~  
お知らせ 次回は場所が変更になります。  
~~~~~

次回二月例会予定

日時…二月二十八日（水）午後一時半～四時

場所…ウェーブ一〇一・サロン3

課題…「会話」 三句（互選）

※二月二十三日までに事務局あて投句願います。

「自由吟」二句以上（佐藤公江選）

※例会当日に投句願います。